

令和7年度

決算特別委員会資料

(一般会計)

教育委員会事務局

こども未来部発達サポートセンター

令和7年度決算概要

インクルーシブ教育事業 7,316,758円

1 相談事業 3,532,478円

支援の必要な方がその人らしく生活できることを目指し、発達相談等を通して適切な関わり方等について助言しました。子どもの発達について、気になることや悩みのある保護者が気軽に相談できる機会や体制を整えることで、早期支援・早期療育につながるように取り組みました。

2 療育事業 333,281円

支援の必要な子どもの早期発見に努め、子どもが良好な対人スキルを身に付けるための療育を早期に行うことで、日常生活及び社会生活を円滑に営めるように支援しました。

3 巡回相談事業 323,574円

園や学校への巡回相談や専門家による教育相談等を実施し、合理的配慮や個別の関わり、授業等の工夫の仕方について指導・助言を行いました。加えて、サポートファイルの重要性について周知し活用を推進するとともに、作成に関して助言しました。

4 研修・啓発事業 397,698円

発達の特性や支援が必要な子どもへの関わり方、効果的な支援方法等、発達障害への理解を深めるため、教育関係者や福祉従事者、市民等それぞれの対象者に合わせた研修を実施しました。

5 発達サポートセンター運営事業 2,729,727円

発達サポートセンターを円滑に運営するとともに、職員の知識・技能の向上に努めました。

(様式 2 - 1)

主 要 行 事 一 覧 表

(こども未来部発達サポートセンター) (単位: 人、円)

係 別	行 事 名	参 加 人 数	経 費	行 事 内 容	
発達支援係	子どもの発達・何でも相談	354	3,496,978	令和7年4月7日～ 令和8年3月31日	医師による発達相談、心理士による発達検査・ 心理相談、言語聴覚士による言語発達相談、理 学療法士・作業療法士による運動発達相談
	はぴあプラザ	12組	35,500	令和7年5月15日～ 令和8年3月5日	主に1歳6か月児から4歳児がいる家庭を対象 とした相談
	療育体験プログラム (はぴあプラスワンルーム)	57	62,089	令和7年10月16日～ 令和8年3月19日	主に2歳児から3歳児を対象とした小集団療育 を体験する教室
	就学移行支援プログラム (e-スタートプログラム)	46	61,192	令和7年4月4日～ 令和7年4月25日 令和8年2月27日～ 令和8年3月19日	5歳児を対象とした集団療育プログラム
	ソーシャルスキルトレーニング (友-UP)	33	23,000	令和7年8月8日～ 令和7年8月29日	小学校・義務教育学校1年生を対象とした集団 療育プログラム
	ペアレントトレーニング (子どものいいところ伸ばし講座)	31	187,000	令和7年6月24日 令和7年9月9日～ 令和8年1月20日	保護者を対象とした臨床心理士による療育・研 修
	専門家派遣型教育相談 (DELIコラ)	15回	289,996	令和7年9月9日～ 令和8年1月30日	大学教授等の専門家による巡回相談
	個別園巡回相談	14回	11,211	令和7年4月21日～ 令和8年2月26日	特別支援学校コーディネーター等による巡回相 談
	サポート研修	279	397,698	令和7年5月29日～ 令和7年11月22日	教育・福祉従事者や市民を対象とした研修

(様式2－3)

委 託 料 明 細 書 (1件100万円を超えるもの)

(款) 教育費 (項) 教育総務費 (目) 教育指導費 ※複数の支出科目にわたる契約は、当該科目分の支出金額を記載。 (こども未来部発達サポートセンター) (単位: 円)

決算書 ページ	委 託 名	内 容	※＜当初金額＞ 全体契約額 (a) (うち当該年度分)	補助事 業等別	補助率	履行の期間	契約の相手方	財 源 内 訳 (繰越明許等、年度をまたぐ契約の場合は、下段に当該年度決算額を括弧書きで記入)				
								特 定 財 源 (b)				一 般 財 源 (a-b)
								国庫支出金	県支出金	地 方 債	そ の 他	
113 ～ 114		ほか8件	1, 077, 381									1, 077, 381

(様式 2 - 4)

使 用 料 及 び 賃 借 料 明 細 書 (1件80万円を超えるもの)

(款) 教育費 (項) 教育総務費 (目) 教育指導費 ※複数の支出科目にわたる契約は、当該科目分の支出金額を記載。 (こども未来部発達サポートセンター) (単位: 円)

決算書 ページ	賃 貸 借 名	内 容	※＜当初金額＞ 全体契約額 (a) (うち当該年度分)	補助事 業等別	補助率	履行の期間	契約の相手方	財 源 内 訳 (繰越明許等、年度をまたぐ契約の場合は、下段に当該年度決算額を括弧書きで記入)				
								特 定 財 源 (b)				一 般 財 源 (a-b)
								国庫支出金	県支出金	地 方 債	そ の 他	
114		ほか2件	439,659									439,659

(様式2－8)

備 品 購 入 費 明 細 書 (1件150万円を超えるもの)

(こども未来部発達サポートセンター) (単位:円)

決算書 ページ	款	項	目	金 額	品 名・数 量	契 約 の 相 手 方	購入年月日	備 考
114	10	1	教育指導費	31,482	ほか1件			

(様式 2 - 9)

負担金、補助及び交付金支出明細書

(こども未来部発達サポートセンター) (単位: 円)

決算書 ページ	款	項	目	金 額	負 担 金 等 支 出 名	算 出 根 拠	備 考
114	10	1	教育指導費	86,800	研修負担金	W I S C - V 知能検査講習会 29,700円 日本LD学会 @9,000×2人=18,000円 発達障害支援者養成講座 16,500円 教育実践研究協議会 @2,000×3人=6,000円 県立発達支援センター前期基礎研修 5,200円 県立発達支援センタースキルアップ研修 2,200円 W I S C - V 勉強会 (オンライン) 4,700円 S C ・教育領域委員会主催研修 3,000円 ひょうご発達障害者支援センター公開講座 1,500円	

(様式2-12)

修繕料明細書 (1件100万円を超えるもの)

(こども未来部発達サポートセンター) (単位:円)

決算書 ページ	款	項	目	金額	内 容	契 約 の 相 手 方	修 繕 日	支 払 日	備 考
113	10	1	教育指導費	143,000	ほか1件				

令和7年度 発達サポートセンター事業実施状況

1 年間相談件数（子どもの発達・何でも相談、巡回相談含む）

計 1,696 件（実人数 728 人）

【所属別 内訳】

未就園	保育所等	小学校等	中学校等	高等学校	大学等	成人	他市町	計
88	532	743	221	48	4	58	2	1,696

【相談経路別 内訳】

来所 相談	電話 相談	訪問	関係機関			巡回 相談	発達 相談	S F※ 提出等	その他	計
			来所	電話	訪問					
122	253	4	10	219	209	424	318	130	7	1,696

※「S F」とは、サポートファイルです。

2 相談事業実施状況

【子どもの発達・何でも相談】

種別	心理相談 (CP)	発達検査 (CP)	発達相談 (Dr.)	言語発達相談 (ST)	運動発達相談 (PT)	運動発達相談 (OT)	計
実施日数 (日)	12	112 <0>	20	8	3	6	161
相談件数 (件)	18	233 <0>	59	21	7	16	354

※< >は、発達サポートセンター職員による実施日数又は相談件数です。

【はぴあプラザ】

種別	5月	7月	9月	11月	1月	3月	計
家族数 (組)	1	1	4	1	2	3	12

3 療育事業実施状況

種別	個別療育	小集団療育				ペアトレ※ (6月)	ペアトレ※ (9月～)
		はぴあプラス ワンルーム	e-スタ※ (4月)	e-スタ※ (2月～)	友-UP※		
実施回数 (回)	0	12	2	4	4	1	9
参加延べ人数 (人)	0	57	14	32	33	1	30
参加実人数 (人)	0	9	8	10	10	1	5

※「はぴあプラスワンルーム」とは、療育体験プログラムです。

※「e-スタ」とは、就学移行支援プログラム（e-スタートプログラム）です。

※「友-UP」とは、ソーシャルスキルトレーニングです。

※「ペアトレ」とは、子どものいいところ伸ばし講座（ペアレントトレーニング）です。

4 巡回相談事業実施状況

種別	定期園 巡回相談	個別園 巡回相談	こども 巡回相談	定期学校 巡回相談	個別学校 巡回相談	DELI コラ※	ひらがな 聴写巡回
実施回数 (回)	13	14	18	9	0	15	4
派遣数 (園・校)	13	8※	10※	6	0	6※	4※
相談件数 (件)	—	—	23	—	—	—	10

※個別園巡回相談の派遣数内訳は、こども園 8 園です。

※こども巡回相談の派遣数内訳は、こども園 8 園、保育所 2 園です。

※「DELI コラ」とは、専門家派遣型教育相談です。

※「DELI コラ」の派遣数内訳は、小学校 3 校、中学校 2 校、義務教育学校 1 校です。

※ひらがな単語聴写テストにかかる巡回相談の派遣数内訳は、小学校 3 校、義務教育学校 1 校です。

5 研修・啓発事業実施状況

【サポート研修】

実施日	研修テーマ	対象	参加 者数 (人)
5/29	子どもの見立て～通常の学級で困っている子の観察ポイント～	園・小学校・中学校教職員等	36
6/14	発達障害の理解と支援～自閉症スペクトラムを中心として～	市民	65
7/18	障がいのある子どもの学びと支援	介助員、スクールアシスタント等	43
8/1	WISC の検査結果を支援に活かす	特別支援教育担当教職員等	33
8/21	崩れない学級づくり～子どもに「死ね」と言われたら～	小学校・中学校教職員等	28
9/11	気になる子どもの理解とかかわり	園職員等	35
11/22	発達障害、ネット・ゲーム依存とのかかわり方	市民	39
参加者数 合計			279

【特別支援教育コーディネーターネットワーク会議】

実施日	対象	参加者数 (人)
5/15	特別支援教育コーディネーター等	38
2/26	特別支援教育コーディネーター等	19